

看多機 さくらす 外観



自然環境になじむ大きな屋根の平屋建て。あさひの杜は、「自然」「地域」との「共生」をコンセプトにしており、造成前からある6本の大木を残している。

看多機 さくらす ウッドデッキ



造成前からある木を中心にデザインしたウッドデッキの向こうには、保育園を臨むことができる。高齢者と子どもたちの世代間交流の機会を考えた設計になっている。

看多機 さくらす 洗濯室



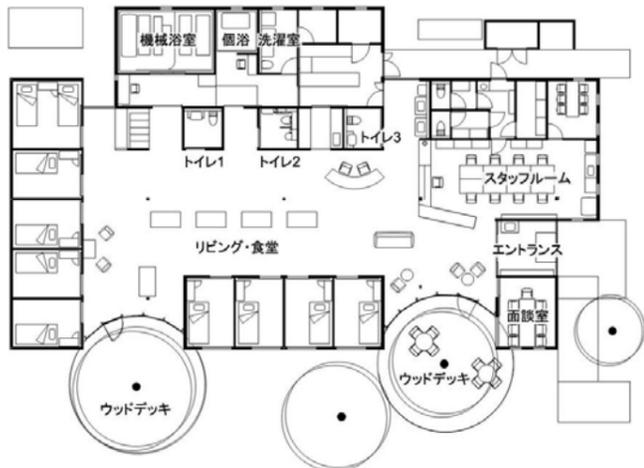
使い勝手や衛生面に配慮し、汚物流しはひじでも操作できるレバーの長いタイプを選定。また、汚物流しとの使い分けを徹底できるように、隣に洗濯流しユニットを設置している。

看多機 さくらす トイレ入口扉



3ヶ所の車いす対応トイレの扉色は、3色に分けてコーディネート。移動時に使用する手すりは、壁色とのコントラストを強調した視認性のよい赤色とし、同様に引戸のとはっては黄色に統一している。

看多機 さくらす 図面



9室の個室は全てリビングルームに面した配置計画。トイレと浴室への入口は、互いに干渉しないよう向きを変え、出入りと介助に必要なスペースを確保している。

看多機 さくらす エントランス



エントランスには、感染症対策として手洗器を設置。車いすや椅子で使用しても水栓に手が届きやすい車いす対応洗面を選定した。

看多機 さくらす トイレ入口 全体



3ヶ所あるトイレは、使用時に互いの出入りや介助のスペースを確保できるように、出入口の向きを変え、距離を空けて計画されている。

看多機 さくらす トイレ1



連続洗浄が可能で前出がコンパクトなパブリックコンパクト便器・フラッシュユニット(掃除口付)を設置。3ヶ所あるトイレはすべて、扉と壁の色をあわせている。

看多機 さくらす リビング



開放的なリビングルームは、内装に無垢材を多用し、木の香りが漂う温かみのある空間。屋外の大木をイメージした柱が構造として建物を支えている。

看多機 さくらす リビング 手洗いコーナー



手洗い回数の多いスタッフの腰の負担に配慮したスタッフ用手洗器と、車いすや椅子でアプローチしやすい車いす対応洗面を設置。衛生面と利用者配慮の両面から2種類を併設している。

看多機 さくらす トイレ2



1ヶ所は、コンパクト多機能トイレバック(車いす・オストメイト対応セット)を選定し、オストメイト対応汚物流しを設置している。

看多機 さくらす トイレ3



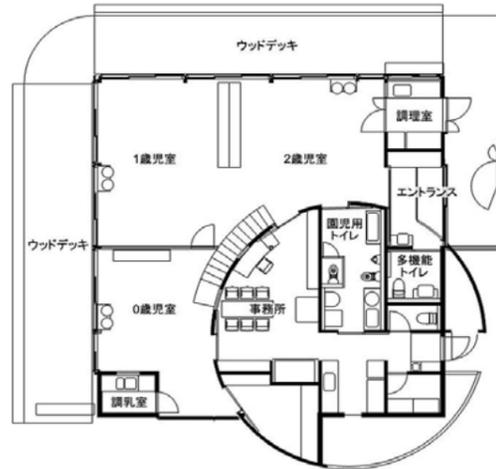
ウォシュレットは、ボタンを押すと自己発電するエコリモコン搭載のウォシュレットアプリコットPを設置。また、便器への移乗、立位保持から座位保持までサポートする前方ボード(スイングタイプ)を設置している。

花くじら保育園 外観



あさひの杜で働くスタッフをサポートする企業主導型保育園は、木の温もりあふれる園舎。園庭を挟んで看多機さくらすが見える。

あさひの杜 花くじら保育園 図面



職員の動線効率化のため、園児トイレを通じて職員エリアに出入りすることができる。

花くじら保育園 園児用トイレ 全体



必要な器具をコンパクトにまとめて配置したトイレ空間。入口側には幼児用マルチシンクを設置。職員エリアは、園児トイレを通じても出入りすることができる。

花くじら保育園 園児用トイレ 大便器



1-2歳児向け大便器は、成長に合わせて使い分けできるように、腰掛便器用手すり(ぞう)を設置したオープンタイプと、ブースで囲った個室タイプを設置している。

花くじら保育園 エントランス



エントランスには、出入りする大人用に手洗器を設置。高齢者施設の利用者さんと交流がある場合も想定し、車いす対応洗面を選定した。

花くじら保育園 多機能トイレ



多機能トイレは、看多機さくらすと同じ仕様とし、さまざまな身体状況の方に配慮している。

花くじら保育園 園児用トイレ 汚物流し 幼児用バス



トイレ内の洗濯機横には、職員の作業動線に配慮し、汚物流しと2槽式の幼児用バスを設置している。

花くじら保育園 職員エリア



職員用玄関には、手洗器を設置。また玄関近くには、トイレと更衣室を配置している。職員トイレは、すっきりデザインで連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を設置している。

花くじら保育園 保育室



保育園の中央には、園の名前になった大きな「花くじら」が泳ぐ壁画が描かれている。子どもたちが伸び伸びと駆け回る願いが込められている。

花くじら保育園 洗面器



園児が使いやすい高さに設置した造作の洗面台には、手動水栓を選定。園児の手の届かない高さに元栓を設置して、使用時ごとに吐水の管理をしている。

建築概要

名称	あさひの杜 ・看護小規模多機能型 居宅介護事業所 さくらす ・花くじら保育園
所在地	茨城県稲敷郡阿見町荒川本郷1854-20
施主	株式会社コメディック
設計	株式会社アーバンデザイナーズアソシエイティッド
施工	株式会社蔵持
竣工年月	2019年6月

水まわりの特長

<建物の特徴>
2012年に有料老人ホームを開業した「あさひの杜」は、2019(令和元)年、同敷地内に看護多機能型居宅介護事業所(略称:看多機)「さくらす」をオープン。地域包括ケアの一翼を担う施設として、地元阿見町に暮らす方々の「住み慣れた故郷で、自分らしく、最期まで暮らしたい」という想いを叶えることを目指している。さらに、企業主導型保育園「花くじら保育園」も同時オープンし、あさひの杜で働くスタッフをサポートしている。あさひの杜のコンセプトは、「地域」「自然」との「共生」とし、造成前からある敷地内の6本の大木をそのまま残しており、木の香りを感じられる無垢材を多用した内装は、森の中で暮らすような癒しの雰囲気をつくっている。また、敷地内には地域の方との交流の場にもなる憩いの庭と散策路を設けており、園舎から聞こえる園児たちの元気な声は、地域に賑わいを与えてくれている。

<水まわりの特長>
看多機さくらすでは、既存施設の運営経験を活かし、トイレ利用時の必要空間を確保するほか、姿勢保持を安定させる前方ボードを設置。さらに手洗器は使い勝手と衛生面から、スタッフ用洗器と利用者用の2種類を併設し使い分けしている。また、花くじら保育園では、園児たちの成長ステップにあわせた幼児用器具を選定している。